

※当資料は「アジアリサーチセンター」のレポートを基に作成しています。

要約

● 春節の伝統的な過ごし方

春節は中国・中華圏における旧暦の正月のことで、中華圏においてもっとも重要な祝日と言えます。多くの中国人は大晦日に家族団らんの夕餉を楽しみ、春節の数日間を家族と共に過ごします。最近では地方から大都市に仕事を求めて移住する人も多く、春節には年1回の家族との再会を求めて、それぞれの故郷に里帰りのため、億人単位での民族大移動の様相を呈します。

● 物惜しみせず奮発する伝統は健在

衣服を新調したり、伝統的な餃子などを食べるのが春節の一般的な風習ですが、経済発展とともに近年は海外旅行をする人が増えるなど少しずつ変化がみられます。それでも春節を祝い1年に1回の贅沢を楽しむ伝統は健在です。特に食に対するこだわりは強く、新年を前に多くの食材を準備するため、春節前の食料品価格は通常月と比較して値上がりする傾向にあります。

● 経済活動は鈍化

一方で、多くの中国人は家族と過ごす一時を大事にし、このため商店も休業となる場合が多く、この時期の経済活動は鈍化傾向がみられます。生産現場では最長で4週間程度、稼働を停止する工場もあります。輸出入統計からも、この時期の経済活動が落ち込む様子がうかがえます。特に足元では景況感の悪化がみられることから、春節の季節性が経済活動の鈍化に拍車をかける可能性もあります。そのため、この時期の弱い経済統計には一時的要因が含まれている可能性があることに留意が必要です。

<春節の飾り>



春節では、道路や建物、家のあちこちを「赤」で飾ります。「赤」は春節のメインカラーであり、おめでたい色でもあります。「赤い提灯」を道路へ掲げ、入り口には赤い対句を飾ります。

※写真はイメージです。

この資料の巻末ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。

香港の春節風景

<街は春節の飾りつけに溢れる>



今年は猪年ならぬ豚年。12支の中で唯一、日本と微妙に異なるが、Pigは豊かさの象徴。

門松ではなく、みかんの樹が飾られる。木へんに吉の字（桔）がGood Luckの象徴。



ビクトリア湾で打ち上げられる花火



チムシャーツイ（尖沙咀）で行われる恒例のパレード



ウオンタイシン（黄大仙）の初詣の様子



※写真はイメージです。写真は三井住友アセットマネジメント、アジアリサーチセンター撮影。

この資料の巻末ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。

<中国人の里帰り>

春運 (Chunyun)

中国全土に散らばった家族が再会する春節の旅行需要は、「春運 (春の旅行) 」として広く知られています。春運期間は一般に、春節初日の2週間前から、同25日後の計40日間を指します (2019年は1月21日から3月1日)。春運の交通機関の混雑は、旅行件数が大きく伸びることよりは、むしろ行き先の方が一方に大きく偏ることが原因となります。春節前は大都市から中小都市へ、春節後はその反対方向への旅行需要が増大します。しかもこれらは春節前後の数日間に集中します。しかし近年は、若者世代を中心に、故郷の両親を自らが購入した大都市の住居に呼び寄せるケースも増えており、春運の混雑は緩和傾向にあるようです。

高速鉄道

高速鉄道網の整備延伸、供給力の大幅拡充も、近年の混雑緩和に寄与しています。中国では、帰省の足として鉄道が利用されますが、切符の入手はかつてに比べると随分と容易になりました。中国鉄道局によると、2019年の春運期間の鉄道利用件数の約60%が高速鉄道であった模様です。

春運期間の鉄道旅行件数

～高速鉄道の利用が増加～



(注) 2019年は中国鉄道局の予想値。
(出所) National Development & Reform Commission, press reports のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

西安北駅の様子 (2019年2月)

～混雑はかつてと比べて緩和～



※写真はイメージです。
写真は三井住友アセットマネジメント、アジアリサーチセンター撮影。

人口移動トップ3省・市：流出 (青)、流入 (緑)
(2019年鉄道切符予約ベース)



(出所) 360 Chunyun Big Data Prediction report 2019 のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

最も混雑するのは人々が仕事に戻る春節明け

年	最も混雑する日	春節後経過日数 (日)	鉄道乗客数 (a) (百万人)	年間平均 (b) (百万人)	(a)/(b)
2018	3月4日	+16	12.8	9.2	139%
2017	2月2日	+6	11.0	8.4	130%
2016	2月13日	+5	10.3	7.7	134%
2015	2月24日	+5	9.5	6.9	136%
2014	2月6日	+6	8.4	6.4	129%
2013	2月25日	+15	7.4	5.8	129%

(出所) National Railway Administration, press reports のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

この資料の巻末ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。

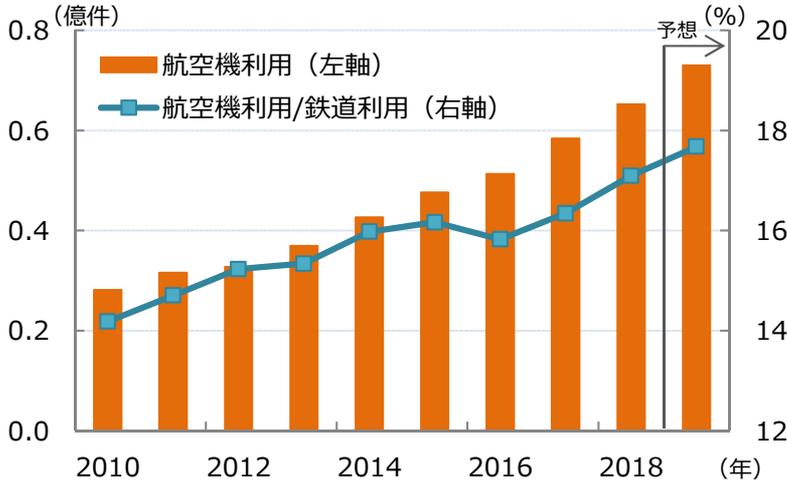


<航空機利用の増加>

近年は鉄道に代わって、春運に航空機を利用する人が増えています。春運の期間には深夜便を中心に多くの臨時便が増発されます。中国国内路線では、安全上の理由もあり通常は需要の低い深夜便は認可されにくいのですが、春運の期間は例外のようです。北京-三亜（海南島）間、北京-ハルビン（哈爾濱）間などで多くの臨時便が運航しています。同様に高速鉄道においても、深夜発の臨時列車が増発されます。

春運期間の航空機と鉄道利用件数

～航空機利用の割合が増加～



(注) 2019年はCAAC (Civil Aviation Administration of China) による予想値。

(出所) National Development & Reform Commission, press reportsのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

1.	北京首都空港 (2017年1位)
2.	深圳宝安空港 (同5位)
3.	広州白雲空港 (同3位)
4.	上海浦東空港 (同2位)
5.	昆明常水空港 (同6位)

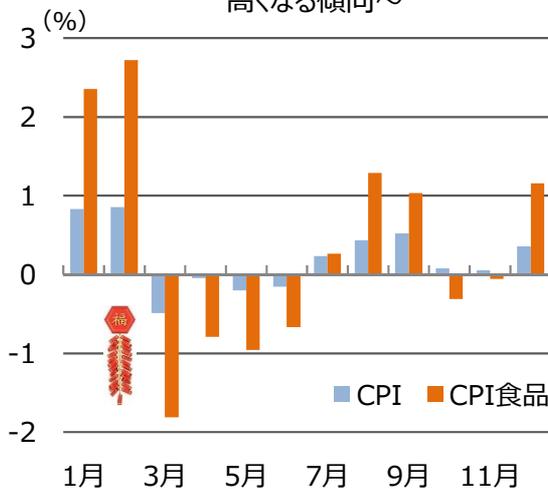
(注) ランキングは2018年春運前の予想データ。
(出所) National Intelligence Traffic System Engineering Technical Research Center Foshan Branch Center のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

<食へのこだわり>

春節は贅沢に華々しく祝います。近年では騒音や空気の悪化を伴う伝統的な爆竹の使用が禁止されていますが、花火、獅子舞、龍舞などが各地で催され、子供や独身者にお年玉（紅包）が幅広く配られます。春節の食へのこだわりも相当なものです。多くの家庭が新年を前に食材を準備するため、春節前の食料品価格は通常月と比較して値上がりする傾向が強く、当該月の消費者物価指数（CPI）を押し上げる要因となります。

消費者物価指数（CPI）の推移

～春節の消費者物価指数は高くなる傾向～



(注) データは2010年～2018年の各月前月比変化率の平均値。
(出所) National Bureau of Statistics のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



中国語で「魚」は「余」と同じYuと発音される。「余裕のある新年」と掛け合わされ、春節の料理では定番。

新年の深夜12時に家族で餃子を食べることが伝統的風習。



※写真はイメージです。
左下の写真は三井住友アセットマネジメント、アジアリサーチセンター撮影

この資料の巻末ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

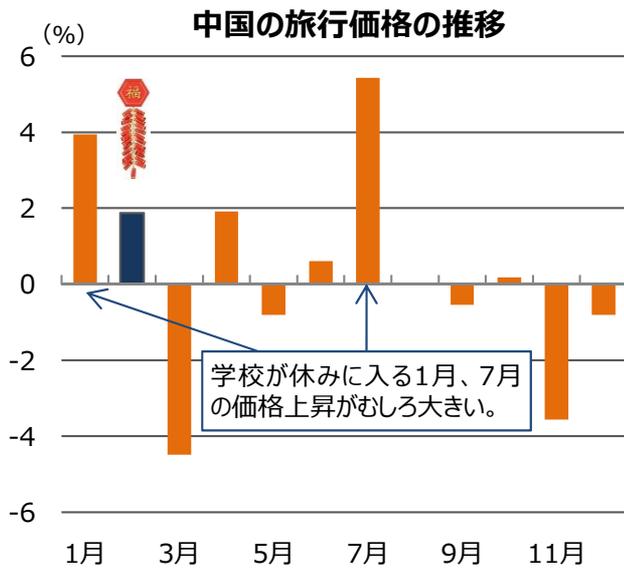
上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。



＜旅行という選択肢も＞

春節休暇を利用して旅行に出かける中国人も増えつつあります。春節では通常、大晦日から数えて7日間は祝祭日となり、10月の国慶節休暇と並び長い連続休暇となります。特に近年では海外旅行が一般化しており、この時期を捉えて海外に出掛ける人も増加しています。携程旅行網（シートリップ）によると、2019年の春節旅行先は人気順にタイ、日本、インドネシア、シンガポール、ベトナムが上位5か国となっています。同社は2019年の春節期間（7日間）の海外旅行件数を前年同期比+7.7%の約7百万件と予想しました。また、春節休暇後に発表された中国文化・旅遊部のデータによると、中国の春節期間中の国内旅行者は前年同期比+7.6%の4.15億人となりました。景気減速を映し、2008年以來の1ケタ台の伸びにとどまったようです。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。



リゾート地として人気の中国海南島



※写真はイメージです。

(注) データは2010年～2018年の各月前月比変化率の平均値。
 (出所) National Bureau of Statistics のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

＜旅行料金の上昇＞

春節期間の旅行料金は当然のことながら割高となります。旅行サイトなどでみると、リゾート地として人気の海南島への北京からの往復航空運賃（4時間のフライト）は日本円で最も安いものでも25万円程度となっています。通常時より20便以上の臨時便が増発されていますが、エコミー席の空き席は僅かです。例えば5月などの通常時では、同区間の往復チケットは概ね5万円以下で入手できます。
 (1人民元 = 16円で換算)

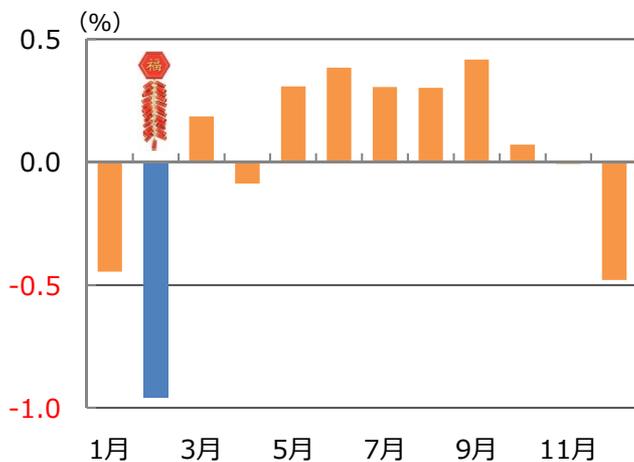
＜経済活動は鈍化＞

労働者が帰省したり旅行に出掛ける春節の期間は、多くの工場が稼働を停止するため、経済活動が鈍化するという季節性があります。例えば購買担当者の景況感を調査する製造業PMI指数は例年1月、2月に低く出る傾向があります。また輸出入統計からも春節にあたる2月は、貿易額の減少が明らかです。製造業PMI指数は季節調整をかけてもその影響を排除しきれていないとみられ、輸出入額はそもそも季節調整がかけられていません。

足元では景況感が悪化しており、春節の季節性が経済活動の鈍化に拍車をかける可能性が高くなりそうです。2019年2月の弱い経済統計には一時的要因が含まれていることに留意する必要があります。逆に春節影響のなくなる3月はその反動から経済指標が強くなる傾向があります。3月初旬に開催される全国人民代表大会（全人代）の後は政策執行が進みやすくなること、気温の上昇からインフラ関連投資が徐々に出てくることも、3月の経済指標にプラスに寄与する見通しです。

中国の製造業PMI指数の季節性

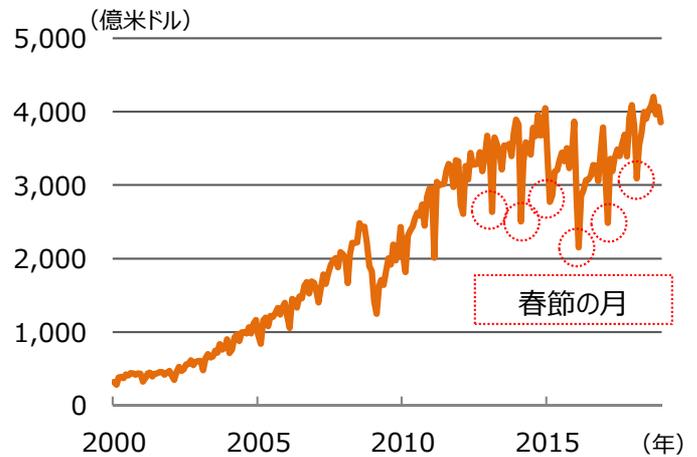
～1,2月は低下傾向～



(注) 各年の平均値からの各月の乖離率について2014年～2018年の5年間の平均。
(出所) CEICのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

中国の貿易合計額の推移

～春節時期は貿易額が減少～



(注) データは2000年1月～2018年12月。
(出所) National Bureau of Statistics のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

- 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。